

JFL入りする西選手(徳島商)

デフ五輪代表候補に

「日の丸背負う」と意欲

7月にトルコで開かれる聴覚障害者のスポーツ大会「デフリンピック」のサッカー男子日本代表候補に、徳島商業高校3年の西大輔選手(18)が選ばれた。3月に茨城県である選考合宿に参加する予定で「自分の持ち味を發揮し、代表に残れるように頑張りたい」と意気込んでいる。



中山監督(右)と握手を交わす西選手(徳島市の徳島商業高)

西選手は日本フットボールリーグ(JFL)のヴェルスパ大分に入ることが決まっている。代表チームの中山剛監督(41)が、入団決定を報じる徳島新聞の記事を見て西選手の存在を知った。実際のプレーを見たことはなかったが、他の代表候補にはJFLでプレーする選手はおらず「レベルの高いプレーが期待できる」と選出した。

31日には、中山監督が徳島市の徳島商業高を訪問。約2時間にわたり西選手とプレススタイルなどについて話し合った後、練習を視察した。「運動量が多く、狙いを持って動いている。中盤でボールをキープし、一対一の場面で相手に勝つプレーをしてほしい」と語った。

中山監督によると、代表候補は30人以上おり、選考合宿で最大23人に絞られる。

デフリンピックは4年に1度開かれ、夏季大会と冬季大会がある。今年の夏季大会は陸上や柔道、水泳など20競技が行われ、男子サッカーには16カ国が出場する。

(坂田佑耶)

ウェイクボードの アジアツアー大会

7月 三好で第3戦

水上スポーツ「ウェイクボード」のアジアツアー大会(アジアウエイクボード協会主催)が2017年に新設され、三好市池田町

費を前期(4~12月)と後期(1~3月)に分けて支給している。県内の市議会では、